

安全な道路環境をめざして

11

SAFETY FOCUS

右折が難しく、対向車と自転車を認識しづらい交差点

「SAFETY MAP」は、Honda が公開している「SAFETY MAP」に示される交通上の危険が潜むスポットに足を運び、現場の交通環境と事故防止について考察する連載記事です。

「SAFETY MAP」には「みんなの意見」として一般投稿された危険スポット情報が地図上に表示されている。今回「FOCUS エリア」(下記参照)に取り上げるのは、栃木県内で4人の方が「みんなの意見」を投稿している「みはら歩道橋」交差点だ。ここには、スピードが出ているクルマが多い(4人)、右折時注意!(4人)という投稿が寄せられている。また、この場所では、平成26年中に四輪車対自転車の事故が5件発生している。

●この地点で発生した事故件数

四輪車対自転車(右折時)	5件
--------------	----

※平成26年中 栃木県警提供

●「SAFETY MAP」みんなの意見

スピードが出ているクルマが多い	4人
-----------------	----

右折時注意!	4人
--------	----

※平成27年11月16日時点



現場をたずねる

FOCUS エリア
栃木県宇都宮市御幸ヶ原町「みはら歩道橋」交差点

今回訪れた「みはら歩道橋」交差点は国道119号(宇都宮環状線)と生活道路が交わっている。午前7時頃から通勤ラッシュが始まっており、外回り方向の道路はクルマが数珠つなぎとなる激しい渋滞が発生していた。南北に通っている生活道路は道幅が若干狭いが、通勤・通学路として利用されており、同様に信号待ちの渋滞が発生していた。

宇都宮環状線外回りの通勤ラッシュの様子



対向車が通過直後、停止線より手前からショートカットして右折を開始するクルマ

環状線と交差する生活道路からの右折でも交差点をショートカットするクルマが多く見られた



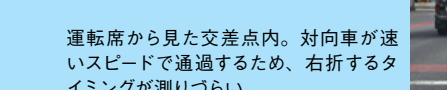
今年5月末の右直事故発生から2ヵ月後に交差点の内寄りに変更された右折待ちの停止線



生活道路は道幅が狭く、右左折する車両と直進車両が交錯



右折先の道路は入り口が広がっているそのためショートカットしたくなるようだった

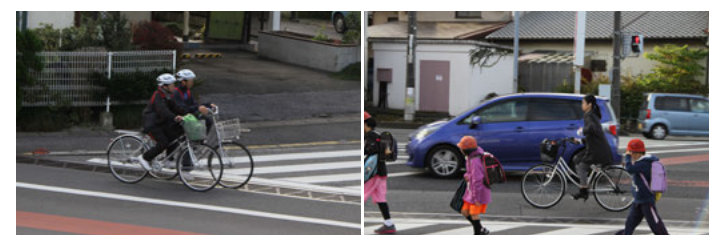


運転席から見た交差点内。対向車が速いスピードで通過するため、右折するタイミングが測りづらい

先を急ぐあまりに行われる強引な右折・直進

観察を始めた朝7時頃から宇都宮環状線の外回りは激しい渋滞となっていたが、反対車線である内回りはクルマの流れが順調で、多くのクルマが速いスピードで交差点を通過していた。

一方、環状線と交差する南北の生活道路は道幅が狭いにも関わらず、右左折する車両と直進車両が行きかっていた。右左折するクルマの横を直進車両がすり抜けるなど、車両が重なりあって対向車を認識しづらくなっていた。特に、右折車両のドライバーは右折のタイミングに集中するあまり、曲がった先の横断歩道(自転車横断帯)を通る歩行者・自転車への意識がうすいように思われた。この生活道路は住宅地を通っているため、道路形状の変更などの改善は難しい。ドライバーは右左折時の周囲の状況を把握し、余裕を持って慎重に交差点を通行することを心がけるべきだ。



自転車利用者は少なかったが、並進や両耳のイヤホン使用が見られた

矢印信号による直進・左折と右折の分離で右直事故を防止する

「みはら歩道橋」交差点では平成27年5月末に、環状線を走行中の直進車両と右折車両による死亡事故が発生している。これを受けて2ヵ月後の7月には環状線外回りの路面表示(右折誘導線と停止線)を変更した。これは右折車両に交差点をショートカットして曲がらないよう促すためだ。しかし、観察時は通勤時間帯で先を急ごうとするためか、右折誘導線に沿って進まず、ショートカットして右折するクルマが目立った。右折誘導線は事故を防止するためにあるので、ドライバーはそれに従って交差点内を通行してほしい。

栃木県警察は、来春までには同交差点の環状線側の直進・左折と右折を矢印信号で分離するという。さらには、東側に隣接する信号機と連動した信号制御の見直しも実施する予定である。

来春までには同交差点の環状線側の直進・左折と右折は矢印信号で分離される



小学生の通学時間帯には保護者による誘導が行われていた

「SAFETY MAP」のご活用・ご参加をお願いします!

ホンダ セーフティマップ

検索

<http://www.honda.co.jp/safetymap/>

「SAFETY MAP」は「みんなで作る安全マップ」です。Hondaのインターナビが集めた日本中を走るクルマの急ブレーキ情報と、交通事故情報、そして皆さんの声で地図はつくられます。お手持ちのPC・スマートフォンからアクセスできますので、あなたの周囲に危険と感じることのある場所があったら、情報を投稿してください。